

教科	家庭	科目	家庭総合	履修区分	必修修	使用教科書	東京書籍『家庭総合』
添削指導回数	8	面接指導回数	8	単位認定試験回数	1	副教材等	NHK高校講座教科書DVD

学習の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ①人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身につけるようにする。 ②家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 ③様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する（タブレットは1枚ずつ、紙は6枚ずつ）。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。 ●視聴票：面接指導の出席と合わせ、①～⑧の計8時間となるように提出する。 ※視聴票による減免は原則4時間（6割減免）まで。
単位認定試験	添削指導、面接指導（視聴票を含む）を全て修了後に受験。
単位修得	（認定）に当たっての基準
評価方法	各単元ごとに3観点で評価（A・B・C）し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名（教科書ページ）	添削指導	面接指導				単位認定試験	観点別評価	
	No.	開講番号	開講期	視聴票			観点	評価規準
				NHK高校講座	教科書DVD			
P. 10-43 生涯を見通す人生をつくる	1	① ② ③ ④	Ⅰ・Ⅲ期	1. 3. 5. 7. 9 10. 11. 12 13. 14. 15 16. 17. 18	P. 10-43 P. 44-75 P. 76-93 P. 94-103	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。自立した生活を営むために、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について理解している。
	思考・判断・表現						生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察する。家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	
	主体的に学習に取り組む態度						様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	
P. 44-75 子どもと共に育つ	2						知識・技能	命に対する責任や、社会の一員として次世代を育む責任を持つために、性と生殖に関する健康について理解する。子どもの発達に応じて適切に関わるようになるために、子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるために、子どもの生活習慣や衣食住について理解する。
	思考・判断・表現						社会全体で子育てを支援していくために、現代の子育て環境の変化や課題について理解し、子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか、考えて実践しようとする。	
	主体的に学習に取り組む態度						様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	
	P. 76-103 超高齢社会を共に生きる共に生き、共に支える						3	知識・技能
思考・判断・表現							高齢期を支える社会の仕組みや課題について考える。高齢者の自立を支えるために私たちにできる適切な支援の方法や関わり方を考える。	
	4						主体的に学習に取り組む態度	自分自身の高齢期をよりよく生きられるようにするとともに、地域社会の一員として高齢者との関わり方を考えて実践しようとする。私たちが多様性を発揮して共に豊かに暮らせる社会に向けて、個人や地域はどのような役割を果たし、つながっていけばよいか、考えて実践しようとする。
							知識・技能	よりよい食習慣を身につけ、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。自分や家族が健康に過ごす食生活に役立てるために、栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について、科学的な理解を深める。
P. 104-121 食生活をつくる							思考・判断・表現	食生活について家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
							主体的に学習に取り組む態度	自分や家族の食生活を持続可能にすることができるようになるために、安全・環境・健康など食生活に関わる情報を適切に判断し、広い視野で食生活について考える。
P. 122-159 見返し5, 6 食生活をつくる	5	⑤ ⑥ ⑦ ⑧	Ⅱ期	20. 21. 22. 24. 25. 27. 29. 30. 31. 32. 34. 35. 36. 37. 38. 39	P. 104-159 P. 160-201 P. 202-228 P. 230-266	知識・技能	安全で衛生的な食生活を営むために食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食物アレルギー、安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。自分と家族の食生活を計画・管理できるようになるために、各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解し、「健康によい、栄養バランスのよい食事」とはどのようなものかを理解する。	
						思考・判断・表現	食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につけるために、調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉える。配膳やマナーに関心を持つ。世界の食文化に関心を持ち、私たちの食生活への影響について理解する。	
						主体的に学習に取り組む態度	自分や家族の食生活を持続可能にすることができるようになるために、安全・環境・健康など食生活に関わる情報を適切に判断し、広い視野で食生活について考える。	
P. 160-201 衣生活をつくる	6					知識・技能	私たちが被服を着用するに至った、社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。用途に合った着装を実践できる力を身につけるために、社会生活を営むうえで被服の役割を理解する。健康・快適・安全な生活を送るために被服に施されている工夫について理解する。	
						思考・判断・表現	被服表示を参考にして目的に応じた被服入手と着装について考えられる力を身につける。環境に配慮した衣生活について考え、実践できる力を身につける。	
						主体的に学習に取り組む態度	次世代に引き継げる衣生活の在り方を考えるために、資源の消費の視点で自分の衣生活を見直す。全ての人が健康・安全・快適な衣生活を営むためのユニバーサルデザインの被服について理解を深める。	
P. 202-229 住生活をつくる	7					知識・技能	住生活を取り巻く課題など、住まいと人との関わりについて理解を深めている。ライフステージの特徴や課題に着目し、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について科学的に理解している。住生活を取り巻く課題など、住まいと人との関わりについて理解を深めている。	
						思考・判断・表現	快適で安全な住空間を計画するために必要な情報を収集・整理できる。主体的に住生活を営むことができるよう日本の住文化の継承・創造について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	
						主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	
P. 230-267 経済生活を営む持続可能な生活を営むこれからの生活を創造する	8					知識・技能	消費生活の現状と課題について理解を深めている。消費行動における意思決定について理解を深めている。生活情報の収集・整理が適切にできる。生活と環境との関わりについて理解している。持続可能な消費について理解している。人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。自立した生活を営むために、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。	
						思考・判断・表現	自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動できるよう、責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、ライフスタイルについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	
						主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定、持続可能な生活の実現について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	